

平成21年度第1回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成21年5月15日(金)

9時40分～10時40分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

1 開 会

2 あいさつ

しなの鉄道活性化協議会長

3 会議成立の報告(事務局)

委員26名中21名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。(協議会規約第6条第2項)

4 協議事項 (議長:会長 協議会規約第6条第1項)

(1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

事務局から原案(資料1)を説明。

(質問・意見等なし)

原案のとおり可決。

(2) 平成21年度しなの鉄道活性化協議会事業計画(案)について

事務局から原案(資料2)を説明。

(質問・意見等)

ア 委託調査が終了し、経費負担が生じるものが示された場合、来年度以降沿線の各市町に負担が発生すると理解してよいか。

経費負担が発生するかどうかは現時点では言えないが、発生する場合もあると思います。たとえば増便とかの要望があった場合で、増便に見合った旅客需要がありしなの鉄道だけで経費をペイできればいいのですがペイできなかったとき、あるいはPRに当たってそれぞれにご負担をいただかなければならない場合なども出てくるかと思えます。経費負担については、そんなに大きな金額だったらやめようとか、このくらいの負担なら皆でやろうということになるかと思えます。そのへんのことは今後この協議会でご審議いただくことになるかと思えます。(事務局)

原案のとおり可決。

(3) 平成 2 1 年度しなの鉄道活性化協議会予算(案)について

事務局から原案(資料 3)を説明。

(質問・意見等なし)

原案のとおり可決。

(4) 総合連携計画策定に係る検討事項(案)について

事務局から原案(資料 4)を説明。

(質問・意見等)

ア・小諸・軽井沢間の上・下線の運行本数はどのくらいか。

また、車両の編成はどうなっているのか。

上・下合わせて 2 8 本だったと思います。

車両は 3 両編成です。(事務局)

・たとえば上田方面から小諸まで 3 両編成で行き、先頭の 1 両だけをそのまま軽井沢まで運行し、折り返して小諸でまた連結し 3 両で上田方面に戻るようなことはできないのか。

電車の構造上 1 両では運行できず、どうしても 3 両ワンセットで運行せざるを得ない。おっしゃることはごもっともなことで、小諸・軽井沢間は旅客需要が少なく 2 両あればとの認識はあります。(事務局)

・車両を新しくする時には考えたほうが良いかと思います。

イ・軽井沢駅東の開発について、話のあった会社は倒産してしまい、土地は売れずにそのままになっているのか。

昨年 1 2 月に仮契約を解除いたしました。その後いくつか打診はありましたが、このような経済状況ですので具体的な話には至っておりません。

(事務局)

・現在の景気状況からして、今売るのは得策ではないと思う。

ただ、もうちょっと綺麗にさせていただくとありがたい。今の状態ですときたならしい感じがする。

承知しました。(事務局)

ウ この会議に出席のため篠ノ井から上田まで乗車しましたが、窓側にいた乗客が新設された千曲駅を見ようと窓のところを触ったらすごい埃で驚いており、「通路はきれいだがこういうところは掃除しないんだ」と言っているのを耳にしました。窓の中間の棧のところにも埃がたまっており、旅客サービスはこのへんの細かいところの気配りから始まるのではないかと感じ

た。

車内の清掃には意を用いておりますが、なお一層努力してまいります。

(会長)

原案のとおり可決。

(5) その他

しなの鉄道(株)中期経営計画の概要について

事務局から資料5説明

5 意見交換

ア 石油輸送を請け負っておられるわけですが、設備面等において大変大きな用益を占めていると思います。脱石油だとか遊休施設の活用、あるいは大きい機関車(貨物列車)を走らせるための電気設備等々を考えたときに、本当に採算が取れているのかきちんと検証してみる必要があるのではないかと。中・長期的にはその辺の検討をしていかなければいけないと思います。

スリムなしなの鉄道にして、言ってみれば下駄履き列車をとっとこととこと走らせることで地域交通を守っていくというようなことについてどのように考えているのか。このことは経営全体の問題として大変大きな課題としてあるのではないかと。

県の課長さんもおいでですが、できれば篠ノ井に石油施設を集約していくことが良い方向性ではないかと感じている。あれ(貨物列車)を走らせることによって儲かるということであるならば話は別ですし、JR貨物さんとの関係がどうなっているのかよく承知しておりませんが、今日乗ってきた状況を見るとかなり大きな施設を保有しているという認識があり、もっとスリムにしていったほうが良いのではないかと感じました。長期的なものの見方をもう一度見直してみる必要があると思います。

ご意見ごもっともなことだと思います。長期的にみますと大変厳しい経営があるだろうと予想しております。そこで、身の丈に合った設備にしていかなければと思っております。小諸駅、中軽井沢駅の改築に合わせて、いらぬものがあるならば整理していこうかと考えております。

第2次中期計画の中にもそんなことを盛り込み、地道に取り込んでまいりたいと思います。(会長)

貨物の件についてですが、坂城駅と西上田駅にある設備はJR貨物の設備であってしなの鉄道のものではありません。貨物列車が走ることによってしなの鉄道に年間3,000万円超の収入が入ってきます。

鉄道業は装置産業であり、設備の稼働率をアップしないことには利益は

出てこないと考えています。現在約50億円の資産を保有していますが、この設備の稼働率をどうやって上げていくかというと、わかりやすく言えば電車をたくさん走らせ、それに応じたお客さんに乗っていただくことかと思えます。現状のしなの鉄道の稼働率を計ることはなかなかできませんし、都会並みの何分に1本の運行が100パーセントとも言えませんが、おそらく50パーセント行くか行かないかの稼働率だと思えます。これを上げていくためには不要な設備の除却も必要かと認識しておりますので、今後5カ年の計画の中でもそのようなスタンスに立って取り組んでいきたいと思えます。(事務局)

6 その他

事務局からの連絡事項

- ・会議以外での事務の進め方について

連絡、照会、依頼事項等の必要が生じた場合、メール等でお知らせし承認をいただきたい旨の依頼をし、了承される。

7 閉 会

以 上